



南葵音楽文庫ミニレクチャー

イギリス人は踊り好き？

ジョン・プレイフォード刊《イギリスの舞踏教師》(1716年)

南葵音楽文庫 M-5/28

佐々木 勉

2018年8月25日

和歌山県立図書館南葵音楽文庫閲覧室

南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松 1-7-38
tel.073-436-9500
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/nanki/>



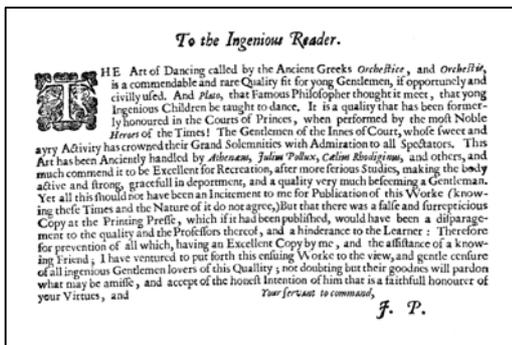
ジョン・プレイフォード刊
《イギリスの舞踏教師》
第16版(1716年)
南葵音楽文庫 M-5/28
第1ページ
おそらくタイトルページ、序
文、目次(収録曲一覧)、舞
踏譜記号一覧、(販売店一覧)
は欠損



初版(1651年)タイトルページ

《イギリスの舞踏教師、あるいはカントリー・ダンスを踊るための平易で簡明な規則、それぞれの踊りの旋律付き》
トーマス・ハーパー印刷、ジョン・プレイフォード販売、インナー・テンプルの教会入り口近くの店。1651年

初版画像出典: "The English Dancing Master", A Facsimile Reprint of the Original Edition of 1651, London 1957



聡明なる読者諸氏へ

古代ギリシア人たちによってオルケスティケ、オルケスティスと呼ばれた舞踏の技芸は、もしふさわしい時に礼儀正しく用いるのであれば、若いジェントルマン諸氏にお薦めできる、稀なる特質をもったものです。著名な哲学者のプラトンは、それを聡明な子どもたちに教えるのにふさわしいものと考えていました。いろいろな時代の高貴な英雄たちによって「踊りが」踊られる時、それは王子たちの宮廷にふさわしい栄誉を与えられました。優雅な身のこなしの法学院のジェントルマン諸氏は、すべての見物人たちからその荘重さの故に称讃されています。この技芸は、古代においてもアテナイオス、ユリウス・ポルクス、ロードスのケリウスらによって言及され、慎重な研究に基づいて、身体を壮健にし、振る舞いを優美にし、ジェントルマンにふさわしい特質をもった、優れた気晴らしとして大いに推奨されています。しかし、(時代と踊りの性格が一致しているわけではないので、) こうしたことすべてが、本書の出版に私を駆り立てたわけではありません。しかしながら、印刷出版においては偽物や海賊版があふれ、もしそうしたものが出版されれば、それらは、教授たちを貶め、学習者を混乱させることになります。したがって、こうしたことすべてを防ぐために、私の優秀な印刷物は必要なであり、友人を助けるためなのです。この確実な印刷物を世に出し、すべての聡明なる、品質を重んじ、批判ばかりしたりしないジェントルマン諸氏に「これを」お薦めする次第であります。それらの素晴らしさは、不都合などがあっても許されるものでしょう。その善意を受け取り、みなさんの美徳に忠実でありたい、

あなたの召使い ジョン・プレイフォード

